

川上ダム通信

2012
7
月号



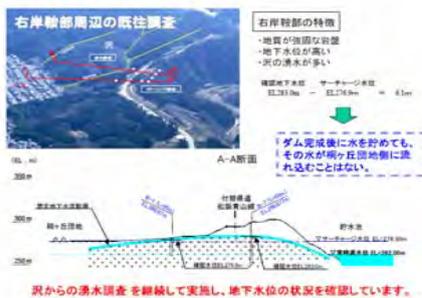
独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
http://www.water.go.jp/kansai/kawakami

桐ヶ丘住民説明会を開催しました

昨年に引き続き、6月17日（日）に伊賀市桐ヶ丘の多目的集会施設「アミティ」にて、桐ヶ丘団地自治会組長会の会議前に時間をいただき、「平成24年度川上ダム事業説明会」を開催しました。

説明会では川上ダム建設事業の現状についてご報告するとともに、川上ダムの^{あんぶ}右岸鞍部周辺（桐ヶ丘4丁目と県道松阪青山線の間）で実施しております湧水調査についても状況等を説明しました。

今後も関係地区の皆様には川上ダム建設事業の状況を折に触れご説明して参ります。



説明資料の一部



説明会の様子
【第一用地課 安田直人】

台風4号 現場内巡視を実施

6月19日（火）に和歌山県南部に上陸し全国各地で被害を出した台風4号は、伊賀地域においても、木津川で氾濫危険水位を超えるほどの大雨をもたらしました。

川上ダム建設所では、前深瀬川の河川流量が急激に増加し、注意を要する水位となったため、防災態勢をとり警戒にあたりました。

最終的には、ダム流域に累計で115mmの雨が降り、斜面崩落等の被害が心配されましたが、台風通過後の現場巡視では特に異常はありませんでした。

今後、雨の多い時期となりますので、引き続き関係機関との連絡を密にし、対応にあたって参ります。

【工務課 田中英晶】

※道路が冠水しているわけではありません。
山側からの水が道路上を流れています。



6月19日 10:40 流量約 1.5m³/秒



6月19日 18:46 流量約 100.0m³/秒

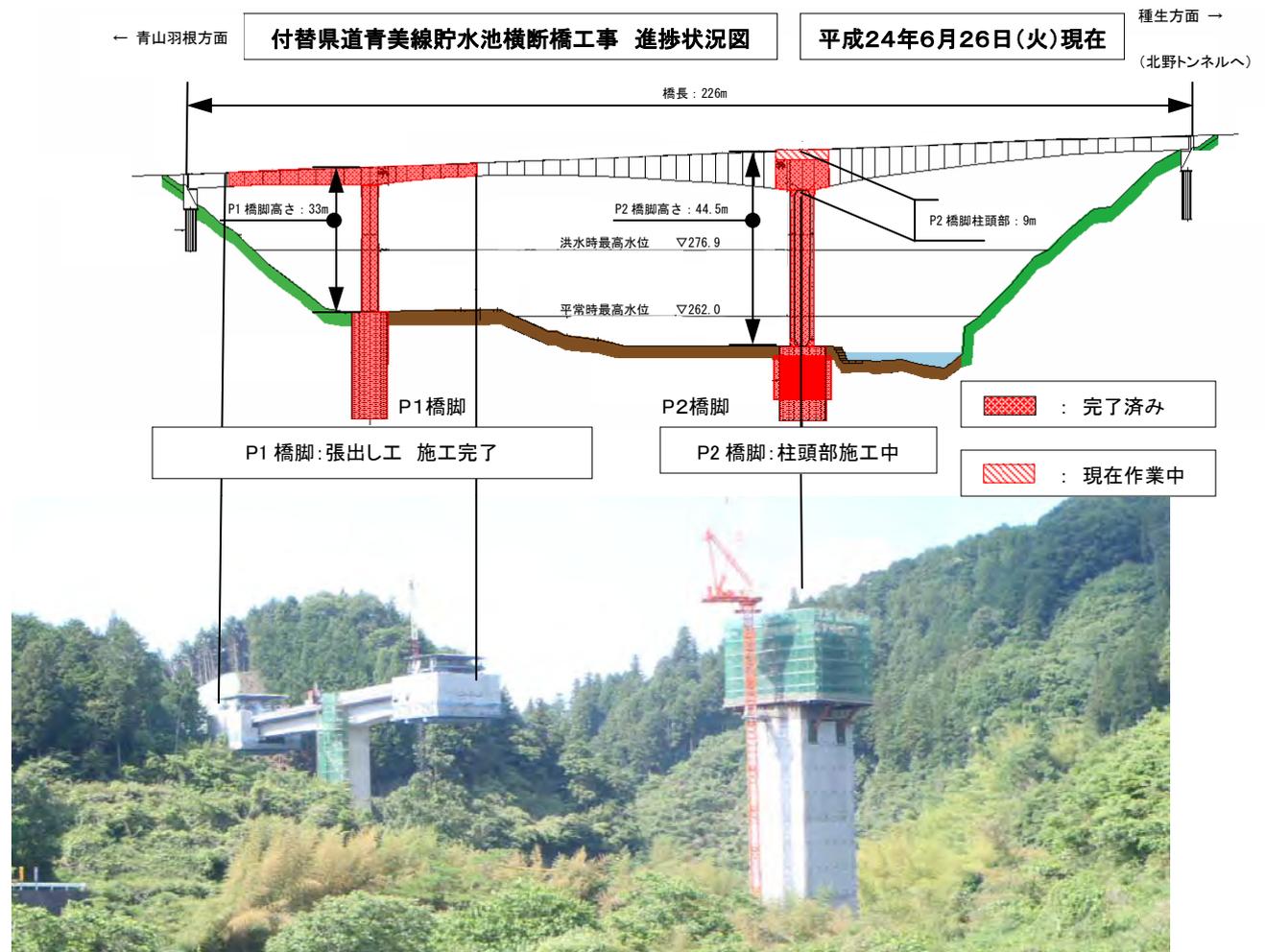
工事進捗状況

付替県道青美線貯水池横断橋工事

本工事も中盤に差しかかり、橋脚部分の施工を終えようとしています。

進捗状況を下図で示していますが、P1橋脚は、張出し施工を全て完了し、ワーゲン（張出し施工を行うための移動作業車）の解体作業を実施しています。

P2橋脚は、前回に引き続き柱頭部工を実施しています。6月26日（火）現在、高さ9mのうち、7mまでのコンクリート打設が完了しており、道路の高さまで出来上がる一步手前の状況となっています。



付替県道青美線第2工区（その4）工事

5月号でご紹介した本工事については、工事を実施する前に行う測量を完了し、施工範囲の木や草の伐採作業を実施しています。

なお、次のページに工事担当者紹介を掲載していますので、併せてご覧ください。

付替県道青美線貯水池横断橋上流部整備工事

本工事は、上段で説明している横断橋と、先日概成した北野トンネルとを繋ぐ交差点部分を施工する工事です。

現在、工事を実施する前に行う測量を完了し、施工範囲の木や草の伐採作業を実施しています。

【工事課 廣瀬早苗】

工事担当者紹介

このたび、川上ダム建設事業の青山美杉線付替工事のうち、『川上ダム付替県道青美線第2工区（その4）工事』を受注させていただきました。私は現場代理人を務める名工建設株式会社の表（おもて）と申します。よろしくお願いします。

弊社は、1941年、名古屋市に本社を置き鉄道工事専門会社として発足しました。現在は、鉄道関連工事の他、道路やトンネル等の一般土木工事、マンションや工場等の建築工事を行う総合建設企業となっています。

私自身は、入社後、北陸支店に配属となりました。最近では北陸新幹線の現場を担当することが多く、糸魚川（新潟県）、滑川や富山市（富山県）のトンネル工事や高架橋工事を行ってきました。



北陸新幹線高架橋上(富山市内)

本工事におきましては、県道青山美杉線の早期開通を目指し、無事故無災害で予定工期内に工事を完成するように関係者全員が一丸となって工事を行います。

また、周辺地域の環境に配慮し、ご迷惑がかからないように努めていきます。

今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願いします。

【名工建設株式会社 名古屋支店 現場代理人 表和秀】

＃3 環境用語集

環境にかかわる用語を紹介するこのコーナー。

今回は、**もうきんるい 猛禽類**について説明します。

猛禽類とは、タカ目・フクロウ目をはじめとした肉食で、獲物を捕らえるために体を進化させた鳥類の総称です。

狩りをするための優れた視覚、鋭い爪とくちばし、強くて丈夫な脚などの共通した特徴があります。

多くの種は、自然生態系における食物連鎖の頂点に位置しています。

最近では、環境改変などによって数が減っている種が多くなってきており、川上ダム周辺に生息する猛禽類の中では、オオタカ（環境省レッドリスト：準絶滅危惧）、サシバ（絶滅危惧II類）等が挙げられます。



オオタカ



サシバ

【環境課 笹原智弘】

浄水場見学会を開催しました

川上ダムでは、職員の水に関する基本知識向上を目的として月に1回勉強会を実施しています。今回は、5月17日（木）に川上ダム職員等17名が、伊賀市水道部「ゆめが丘浄水場」の施設見学を行いました。この浄水場は、平成21年の4月に給水を開始した伊賀市の主力浄水場です。

当日は伊賀市水道部の方に、川から取水した原水がたくさんの工程を経て順次きれいになっていき、飲み水になるまでの流れについて詳しく説明していただきました。

下に施設見学時の写真を示します。薬品沈殿池の上部は、ソーラーパネルで覆われており、150kwの発電ができる施設です。また、薬品沈殿池の水面をソーラーパネルで覆うことで、広いスペースを有効活用し、さらに薬品沈殿池の中の藻類の発生も抑えることができるという、いろんな意味でエコな施設です。

中央管理室では、ゆめが丘浄水場だけでなく、市内の他の浄水場も監視でき、安定・安全・効率的な管理をされていました。

お忙しい中対応していただきました伊賀市水道部のみなさま、大変ありがとうございました。



○フロック形成池

ここでゆっくり水が攪拌され、水中につぶつぶ（フロック）が現れていました。



○薬品沈殿池

約62mの長いプールでフロックを沈殿させます。奥に進むにつれ、水が透き通っていくのがわかりました。



○中央管理室

24時間体制で複数の浄水場の運転状況、水質、監視カメラの映像などモニタリングされていました。

【調査設計課 本田真章】

編集後記

今年は、6月に台風が日本列島へ上陸するなど、去年に引き続きあわただしい出水期を迎えています。皆様におかれましても突発的な雷雨や台風による急激な河川の増水には、十分ご注意ください。

また、かなり暑くなってきました。自分は大丈夫と過信せず、体調管理・熱中症等には十分気をつけてお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）
デスク 大友（総務課長） 田中（工務課長）
記者 湯本（総務課） 松高（第二用地課）
本田（調査設計課） 笹原（環境課）
廣瀬（工事課）

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。

宛先 〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地
独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
メール somu1@lily.ocn.ne.jp
◇川上ダムはISO14001を取得し、環境保全を推進しています。



ISO14001: 2004
JQA-EM5769